

レベチラセタム錠/DS「トーフ」を 服用される患者さんをご家族の方へ

この薬は、抗てんかん剤です。脳内の神経の過剰な興奮をしずめて、てんかん発作を抑えます。自分の判断で服用をやめたり、量を加減したりせず、担当の医師の指示どおりに服用し続けることが大切です。

薬を服用する前に確認すること

次のような方はこの薬を服用することはできません。

- 過去にレベチラセタム錠・DSの成分又はピロリドン誘導体(ピラセタム)を服用して過敏な反応を経験したことがある人

次のような方は服用する前に必ず担当の医師または薬剤師に伝えてください。

- 以前にお薬を服用してかゆみや発疹などのアレルギー症状を経験したことがある人
- 腎臓に障害がある人
- 血液透析を受けている末期腎機能障害がある人
- 肝臓に重い障害がある人
- 妊婦または妊娠している可能性がある人
- 授乳中の人
- 他にお薬などを使っている人(一般用医薬品や食品を含む)

薬の服用中に気をつけること

- てんかん発作が悪化したり、てんかん重積状態*があらわれたりすることがあるので、自分の判断で服用をやめたり、量を減らしたりしないでください。服用を中止する場合には、医師の指示の元で少なくとも2週間以上かけて徐々に減量されます。

*てんかん重積状態：てんかん発作をくりかえし、なかなか回復しない状態

(裏面もお読みください)

続き

薬の服用中に気をつけること

- 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
-
- 患者さんやご家族などの方は、この薬の服用で、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、意識が乱れる、考えがまとまらない、いらいらする、あせる、興奮しやすい、攻撃的になるなどの症状があらわれ、死にたいという気持ちになる可能性があることについて、医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。

患者さんへ

攻撃的になる、死にたいという気持ちになるなどの症状があらわれた場合、医師に相談してください。気分に変化があったと感じた場合には、ご家族などの方にも伝えるようにしてください。

ご家族などの方へ

患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。

-
- 妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
 - 授乳している人は医師に相談してください。
 - 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を服用していることを医師または薬剤師に伝えてください。